

原材料のサプライチェーン方針

プランゼーHPM（「プランゼー」）は、当社の原材料が当社グループのすべての拠点に対して責任を持って調達されることを保証することにコミットしています。サプライヤーポリシーおよび行動規範は、倫理的なビジネス慣行と法令順守に対する企業のコミットメントを規定しており、当社はこれらのコミットメントに従うサプライヤーとだけ取引を行っています。

ウェブサイト <https://www.plansee.com/en/contact.html> に記載されているプランゼーの拠点は、責任ある鉱物保証プロセス（RMAP）（<https://www.responsiblemineralsinitiative.org/>）の適合製錬所リストに含まれている製錬所からのみ購入します。

プランゼーの各拠点では、調達先が武力紛争グループを支援・利得したり、深刻な人権侵害に関与したりしないようなプロセスと手順を実施しています。

当社は、経済協力開発機構（OECD）の活動を支持し、当社自身のデュー・ディリジェンスのモデルとして、「紛争影響地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのための OECD デュー・ディリジェンス・ガイダンス」（OECD ガイダンス）の勧告を使用します。

OECD ガイダンス付属書 II（<https://www.oecd.org/daf/inv/mne/OECD-Due-Diligence-Guidance-Minerals-Edition3.pdf>）に従い、プランゼーはすべての活動を強く非難し、違法な資金調達やその他の活動を通じて武装反体制派／テロリスト集団に利益を与えたり支援したりしたと考えられるもの、または鉱物の採掘、取り扱い、輸送、取引に関連する深刻な人権侵害に関与したと考えられるものについては、以下を含め、いかなるものも拒否します。

- ひどい虐待（例：拷問、残酷、非人道的かつ品位を傷つける取り扱い、強制労働の強制、最悪形態の児童労働、広範囲に及ぶ性的暴力などの人権侵害および虐待、戦争犯罪またはその他の国際人道法の重大な違反、人道に対する罪または大量虐殺）
- 非国家武装集団に対する直接的または間接的な支援
- 公的または民間の治安部隊への直接または間接的な支援
- 鉱物の起源についての贈収賄および詐欺的な虚偽表示
- マネーロンダリング
- 政府への税金、手数料、ロイヤリティの不払い

プランゼーが、継続的なデューデリジェンス、マーケットインテリジェンス、および公に利用可能な内部告発システムを通じて、当社のサプライヤーが当社の責任ある調達要件を満たさない慣行に従事していることを発見した場合、当社は直ちに当該サプライヤーからの調達を停止する旨を当該サプライヤーに通知し、特定されたリスクを軽減するための計画を策定します。サプライチェーンリスク評価の結果は、指定された上級管理者に報告されます。リスク管理の戦略は、i) 測定可能なリスク軽減努力の期間中、取引を継続すること、ii) 測定可能なリスク軽減を継続的に追求する間、取引を一時的に停止すること、iii) リスク軽減の試みが失敗した後、または企業がリスク軽減が実行不可能または受け入れ不可能と判断した後、サプライヤーとの関係を解消すること、のいずれかです。緩和措置によって特定されたリスクを当社が満足するまで解決できなかった場合、または供給

者が私たちの方針に沿わず、極端な侮辱、不正行為または状況を示す更なる活動を発見した場合、プランゼーは直ちに当該供給者とのいかなる活動も中止します。

プランゼーの購買プロセスの説明では、関連するすべての原材料が、不法な武力紛争を支援または利することなく、あるいは深刻な人権侵害や国際人道法違反を助長することのない方法で調達されていることを確実にするため、「紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのための OECD デューデリジェンスガイダンス (CAHRA)」に準拠した管理システムを導入しています。

プランゼーの購買プロセスの記述では、関連するすべての原材料が、不法な武力紛争を支援または利することなく、あるいは深刻な人権侵害や国際人道法違反を助長することのない方法で調達されていることを確実にするため、「紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのための OECD デューデリジェンスガイダンス (CAHRA)」に準拠した管理システムを導入しています。

プランゼーはサプライヤーポリシーをサプライヤーに伝え、レビューのために公開します。さらに、プランゼーは、サプライヤーが当社のポリシーを契約的に承認し、当社自身のデューデリジェンスを実施するために必要な情報、ドキュメント、およびサイト訪問時に便宜を図ることにコミットするよう要求しています。

OECD ガイダンスと連携して、プランゼーは毎年紛争の影響を受ける地域および高リスク地域からの鉱物供給に関するプランゼーデューデリジェンス報告書を公表し、公開します。
(<https://www.plansee.com/>)

調達本部長のSandra Horninger (sandra.horninger@plansee.com) は、紛争鉱物が合法的かつ倫理的な方法で調達され、当社の方針と手順に従っていることを保証する責任を負っています。

プランゼーの調達および調達業務に懸念がある場合、プランゼーの全従業員、サプライヤー、顧客およびその他の利害関係者は、調達責任者、法務部門に連絡するか、または下記から匿名で通報することができます。

<https://www.plansee.com/en/company/nachhaltigkeit/compliance.html>



Ulrich Lausecker
共同代表取締役



Sandra Horninger
調達本部長